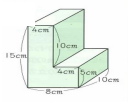


言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (呉市立三津口小学校)

- ① 教科等 算数科 ② 学年 第5学年
- ③ 単元名 体積
- ④ 本時の目標 L字型の立体の体積の求め方を考えることができる。
- ⑤ 学習の流れ (8時間目/全10時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
<p>1 問題を把握する。</p> <p>L字型の立体の体積を求めましょう。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの立体との違い(欠けている部分があること)を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・面積の求め方を活用してL字型の立体の体積の求め方を考え、図、式、言葉を関連させて説明している。(数学的な考え方)(ワークシート、ノートへの記述、発表) ・効率的な方法で2問とも正しく解いている。[技能](ノート記述、発表)
<p>2 課題をつかむ。</p> <p>体積の求め方を考えよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・L字型の面積の求め方を想起させる。 ・図を用いて考えることができるように、図形を示したワークシートを配付する。 	
<p>3 見通しをもつ。</p> <p>○直方体・立方体の体積の求め方</p> <p>○L字型の面積の求め方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・補助線を引いて分けたり、欠けている部分を書き足したりして考えるようにさせる。 	
<p>4 体積の求め方を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表ボードに考えをかくことで、考えのポイント(キーワード)を焦点化できるようにする。 ・「縦に分けてたす」「横に分けてたす」「埋めて引く」の順に説明させ、妥当性を検討する。 ・「分けてたす」という類似点と「うめて引く」という相違点を整理し、考えを類型化する。 ・面積と同様に、分けてたしたり、埋めて引いたりすれば求められることをまとめる。 	
<p>5 体積の求め方について話し合う。</p> <p>①考えを発表し合う。</p> <p>②考え方を比較検討する。</p> <p>③有効な考え方をまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・立体の形や数値によってどの方法が効率的であるかを考えさせるようにする。 ・振り返りポイントを提示しておき、学習課題に関わる振り返りや考えのよさにつながる振り返りをさせる。 	
<p>6 活用問題を考える。</p> <p>工夫して体積を求めましょう。</p> 		
<p>7 学習を振り返る。</p>		

「言語活動の充実」

設定した言語活動を通して育てたい力

- 複合図形の面積の求め方(既習事項)を活用し、L字型の立体の体積の求め方(新しい課題)を考え、求めることができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 既習事項のキーワードを解決のカギとして掲示しておく。
- 既習事項を想起させ、見通しをもたせる。
- 考えを類型化し、比較検討させることで、体積の求め方の理解を深めさせる。また、よりよい考えに到達するよう、発問を工夫する。